



2025 年 10 月 31 日

各 位

会 社 名 大平洋金属株式会社
代 表 者 代表取締役社長 岩館 一夫
(コード番号 5541 東証プライム市場)
問合せ先 取締役常務執行役員 松山 輝信
(TEL 03-3201-6681)

売上原価(棚卸資産の簿価切下げ額の戻入れ)の計上、営業外収益(持分法による投資利益)
の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間(2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日)において、売上原価として棚卸資産の簿価切下げ額の戻入れの計上及び営業外収益として持分法による投資利益を計上するとともに、最近の業績の動向を踏まえ、2025 年 8 月 7 日に発表した 2026 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間(2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日)及び通期(2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)の連結業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

●売上原価(棚卸資産の簿価切下げ額の戻入れ)の内容

主にニッケル事業において、販売価格は、当社適用 LME ニッケル価格及び当社適用平均為替レートの影響に加えて価格優位性が見られるニッケル銑鉄の価格も一部参考としており、また、調達価格において、高水準にある原燃料価格及び電力コスト等によって生産コストが上昇しており、これらに伴い棚卸資産(商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品)の収益性の低下が認められ、第 1 四半期連結累計期間におきまして棚卸資産の簿価切下げ額を売上原価へ 1,542 百万円計上しておりましたが、棚卸資産の在庫量の減少等に伴い売上原価へ 1,108 百万円を戻入れる見込み(売上原価の減少)となりました。そのため、当第 2 四半期連結累計期間の差し引きでは、433 百万円の簿価切下げ額の見込みです。

●営業外収益(持分法による投資利益)の内容

主にフィリピンの持分法適用関連会社において、堅調な需要に支えられ、当第 2 四半期連結累計期間におきまして持分法による投資利益 2,867 百万円を計上する見込みとなりました。

●業績予想の修正について

1. 2026 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A) (2025 年 8 月 7 日発表)	百万円 4,148	百万円 △4,434	百万円 △2,039	百万円 △2,187	円 銭 △125.83
今回修正予想 (B)	4,463	△4,042	△1,086	△1,095	△63.02
増 減 額 (B-A)	315	391	952	1,091	
増 減 率 (%)	7.6	—	—	—	
(参考)前期第 2 四半期実績 (2025 年 3 月期第 2 四半期)	7,835	△4,468	△2,316	△1,877	△96.26

2. 2026 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2025 年 8 月 7 日発表)	百万円 8,695	百万円 △6,604	百万円 △1,428	百万円 △1,636	円 銭 △94.13
今回修正予想 (B)	8,532	△6,494	△1,840	△1,880	△108.12
増 減 額 (B-A)	△163	110	△412	△244	
増 減 率 (%)	△1.9	—	—	—	
(参考) 前期実績 (2025 年 3 月期)	13,175	△7,368	△1,622	△1,667	△85.52

3. 修正の理由

連結業績予想につきましては、中国における不動産市場の停滞、欧米における高水準の金利、中東地域やウクライナ情勢の緊迫化、米国の関税措置等の影響を受けて、依然不確実性が高い状態で推移しております。

当社フェロニッケル製品の数量面については環境に大きな変化は見られず、収益性の観点から数量抑制の方針を継続しており、前回公表計画より若干の減少を見込んでおります。

損益について、フェロニッケル製品の販売価格面では、当社適用価格相場に加えてニッケル銑鉄の価格も一部参考とした価格水準のため収入は一定程度抑えられ、また、調達価格面では、主原料であるニッケル鉱石価格及び原燃料や電力の価格は引き続き高水準であるため、大きな影響を与えることが見込まれます。

その他では、棚卸資産簿価切下げ額の影響について、上期は追加計上の一方、下期では簿価切下げ額の縮小で戻入れ額が発生することにより上期と下期の損益傾向は異なる予想で、営業外収益においては、分散するエネルギーリソースを制御して発電所と同じように機能させる電力需給調整市場への参入時期を一部調整等したことから得られる報酬見込み額を見直しております。

また、米国の関税措置については、国内外へ広範囲の影響が及ぶ可能性があるため、サプライチェーンの混乱が懸念されます。連結業績予想への影響は限定的と見込まれるものの、今後、各国の経済対策によっては、当事業の需要や価格面に大きな影響を与える可能性があります。

このように、厳しい状況は継続しておりますが、こうした事業環境等への対応は、「中長期戦略 PAMCOvision2031」において当社グループが掲げる基本方針等で取り組む活動に合致しており、引き続き強く推し進めて参ります。

そのため、連結業績予想を上記のとおり修正いたしました。なお、前提条件に関しましては以下（参考）前提条件の修正をご参照ください。

（注）本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（参考）前提条件の修正

	販売数量 (t)			生産数量 (t)			適用 LME ニッケル価格 (\$/lb)			適用為替 (¥/\$)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
前回発表予想 (2025 年 8 月 7 日発表)	1,734	2,001	3,735	1,830	1,865	3,695	6.96	7.00	6.98	146.95	144.17	145.46
今回修正予想	1,890	1,739	3,629	1,787	1,842	3,629	6.95	6.93	6.94	147.83	144.41	146.19
(参考) 前期実績 (2025 年 3 月期)	3,284	2,146	5,430	2,010	1,878	3,888	8.05	7.32	7.76	153.32	149.85	151.94

以 上